



試験結果報告書

サンユレック株式会社 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
 支部長 福田 啓平
 〒572-0004 大阪府寝屋川市成田町2番3号



依頼No. 125774

報告日：平成25年3月12日

判定	支部長
適合	福田

品名	SRジョイント工法		試験受付日	平成24年10月18日
			試験採取日	平成24年10月18日
			試験採取場所	提出 (サンユレック株式会社)
製造者	サンユレック株式会社		試験数量	下記参照
試験項目	成績		規格	
			一般社団法人農業土木事業協会 農業水利施設の補修・補強工事に関する マニュアル[開水路編](案) 平成24年4月 目地被覆工法の品質規格による	
基本的性能	耐候性	被膜表面に、膨れ、割れ、剥がれを認めない		JSCE-K 511-2010 に準じる。 促進耐候性試験後被膜表面に、膨れ、割れ、剥がれがないこと (フッシャインカーボンアーク灯式1200時間)
	付着性	標準条件	4.4 N/mm ²	JSCE-K 561-2010 に準じる。 1.5 N/mm ² 以上
		多湿条件	3.3 N/mm ²	
		低温条件 (材齢7日)	3.0 N/mm ²	
		低温条件 (材齢28日)	4.2 N/mm ²	
		水中条件	3.6 N/mm ²	JSCE-K 561-2010 に準じる。 1.0 N/mm ² 以上
		乾湿繰返し条件	3.3 N/mm ²	
		温冷繰返し条件	3.3 N/mm ²	
止水性	漏水を認めない		モデル試験体での実験。水圧0.1Mpa。 3分間保持して漏水がないこと	
伸縮追従性	補修材表面に破断がなく、接着面に剥離を認めない		JIS A 1439 5.17 耐久性試験に準じる。 振幅変位 ±3mm 繰返し回数 7,300回 補修材表面に破断がなく、接着面に剥離がないこと	

試験結果報告書

サンユレック株式会社 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
 支部長 沼田 敏平
 〒572-0004 大阪府寝屋川市成田町 2 番 3 号



依頼No. 1 2 5 7 7 4

表-1 塗装仕様書

耐候性試験片の塗付け方法

工 程	商品名	混合割合 (質量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗装 方法	塗装 間隔 (h)
接着剤	A-555	主剤：硬化剤 = 2 : 1	2 mm	ヘラ 塗り	直後
シート	SR特殊防水シート	—	1.0 m ² /m ²	—	—

付着性試験片の塗付け方法

工 程	商品名	混合割合 (質量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗装 方法	塗装 間隔 (h)
接着剤	A-555	主剤：硬化剤 = 2 : 1	5 mm	ヘラ 塗り	—

止水性試験片の塗付け方法

工 程	商品名	混合割合 (質量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗装 方法	塗装 間隔 (h)
接着剤	A-555	主剤：硬化剤 = 2 : 1	2 mm	ヘラ 塗り	直後
シート	SR特殊防水シート	—	1.0 m ² /m ²	—	24
接着剤	A-555	主剤：硬化剤 = 2 : 1	10 mm	ヘラ 塗り	—

伸縮追従性(両端部接着剤)試験片の塗付け方法

工 程	商品名	混合割合 (質量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗装 方法	塗装 間隔 (h)
接着剤	A-555	主剤：硬化剤 = 2 : 1	2 mm	ヘラ 塗り	直後
シート	SR特殊防水シート	—	1.0 m ² /m ²	—	24
接着剤	A-555	主剤：硬化剤 = 2 : 1	2 mm	ヘラ 塗り	—

試験結果報告書

サンユレック株式会社 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 西支部
 支部長 沼田 政平
 〒572-0004 大阪府寝屋川市成田町2番3号



依頼No. 125774

試験片の養生条件および養生期間は下記とした。

- 標準条件：標準状態（温度 $20 \pm 2^\circ\text{C}$ 、相対湿度 $60 \pm 10\%$ ）で7日間
 多湿条件：多湿状態（温度 $20 \pm 1^\circ\text{C}$ 、相対湿度 90% 以上）で7日間
 低温条件：低温状態（温度 $5 \pm 1^\circ\text{C}$ ）で7日間および28日間
 水中条件：標準状態（温度 $20 \pm 2^\circ\text{C}$ 、相対湿度 $60 \pm 10\%$ ）で7日間養生後、水中状態（ $20 \pm 1^\circ\text{C}$ ）で7日間
 乾湿繰返し条件：標準状態（温度 $20 \pm 2^\circ\text{C}$ 、相対湿度 $60 \pm 10\%$ ）で7日間養生後、乾湿繰返し（*1）10サイクル、その後、標準状態1日間
 湿冷繰返し条件：標準状態（温度 $20 \pm 2^\circ\text{C}$ 、相対湿度 $60 \pm 10\%$ ）で7日間養生後、湿冷繰返し（*2）10サイクル、その後、標準状態1日間

- （*1）乾湿繰返しとは、供試体を温度 $60 \pm 3^\circ\text{C}$ の恒温器中で18時間放置し、直ちに温度 $60 \pm 3^\circ\text{C}$ の恒温水槽に6時間浸せきした状態をいい、この操作を1サイクルという。
 （*2）湿冷繰返しとは、供試体を温度 $20 \pm 1^\circ\text{C}$ の水中に18時間浸せきした後、直ちに温度 $-20 \pm 3^\circ\text{C}$ の恒温器中で3時間冷却し、次いで温度 $50 \pm 3^\circ\text{C}$ の別の恒温器中で3時間加温した状態をいい、この操作を1サイクルという。

表-2 提出試料

工 程	商 品 名	Lot No.	数 量
接着剤	A-555 A 主 剤	2H20	20kg
	A-555 B 硬化剤	2D06-01	10kg
シート	SR特殊防水シート	-	13mm×200mm

以 上